

学校の評価、選択、経営に関する研究

—宗教系私立学校における アンケート調査の結果から—

小幡 啓靖

Hiroyasu Obata

1. 私立学校ブームと宗教教育

首都圏の私立学校を紹介する『私立中学の特色ガイド』¹⁾は、「私立学校には、公立学校にはない個性があります。学校の創立以来の伝統、ポリシーのある教育方針、宗教など、それぞれの学校が自校の基準を持って教育を行なっているのは私立校の最も大きな特徴です。『しつけ重視』『文武両道』『国際教育』『宗教を基盤とした倫理教育』『自由主義』など、主義主張も様々で…」と説明している。

しかし、我が国の80年代以降の「私立ブーム」が「特殊日本的に展開」し、私立志向はあくまでも「受験競争の激化の延長線上」にあることは、様々なところで指摘されている。

例えば、アメリカでは「私学選択の理由を尋ねた調査では『学力…42%，宗教教育…30%，規律…12%』(Kutner,Sherman&Williams 1986) となって」いることからも分かるように、私学は「単に受験学力をつけるためだけに存在しているのではなく」、例えば「宗教が道徳的規範として根づいている社会において宗教上の私事的な要求に応えながら社会の多様性を確保する」という役割を果たしていると言われている。しかし、日本の場合は、「私学が規制の弱さを利用していわゆる『特進コース』を設置し、『優秀な』生徒を集め」るという「受験や進学に有利な私学への志向が高ま」り、それが公立学校の地位低下を招いたと指摘され、対照をなしている²⁾。この傾向こそ、第14期中央教育審議会答申で、「一部の私立学校のように受験準備教育に過度に偏った教育を行うことは、本来の個性的な私立学校という観念とは必ずしも一致しない。このような私立学校においては、公教育の一環としての観点からもその行き過ぎを改めていくことが求められる」³⁾と指摘された点である。

宗教系私立学校の特徴の一つは、先の『ガイド』やア

メリカでの調査結果にもあるように「宗教教育」、あるいはそれに根ざした教育であることは言うまでもない。しかし、その「個性」もまた次第に薄れつつある。『ガイド』に収録された235枚のうち約70枚の宗教系私立学校各校を既観すれば、その「学校の個性」は、「宗教教育」よりも、むしろ「大学進学の実績」や「語学教育」などを通じて醸し出そうとする傾向を見てとることができる⁴⁾。また、宗教教育を重視する立場から、「公立学校では出来ない宗教教育を通じて人間尊重の教育をすることが願わしい」にもかかわらず、「公立学校の二流校的在り方をしている場合」や「所謂『一流校』風に近づこうとする」学校、また「宗教系であるということが、生徒を集める要因にはならない」と考え「むしろそういうものは切り捨てて有名進学校化するのが、最も手っ取り早い私立学校の生きのびる道」と考える学校など、「自ら『宗教性』を希薄化する傾向」が見られることが指摘され、深刻な事態として受け止められている⁵⁾。

宗教系私立学校が「宗教教育」の他にも特徴を持つようになり、多様な生徒を受け入れるようになることは、開かれた宗教的情操の教育を考える上では、有意義な示唆を与えるものと思われる。しかし、当然ながら、それはまず、その「個性」を保持していることを前提とすればこそである。

ここでは、宗教系私立学校がその「個性」を保持することについて、特に宗教系私立学校である「6番」高校の生徒への「高校生の生活・意識調査」をもとに、生徒の学校選択、入学後の評価などの観点から考察した。生徒、父兄の学校選択と私立学校の経営とは切り離して論じられないことは言うまでもなく、本発表が、私立学校の特色作りについて考える上での問題提起となれば幸いである。

2. Y県「6番」高校の概要

「6番」高校は、浄土真宗大谷派寺院の住職によって設立された学校法人を構成する、生徒数572名の女子校である。この学校法人自体は、昭和34年にS女子高校を開校し、さらに短期大学の創設や幼稚園の併合によって総合学園として成長していた。「6番」高校の前身となった女子高校は、昭和44年に設立され、地域の女子教育の一端を担っていたが、昭和60年より学校経営移管の形で、新たに「6番」高校が誕生した。

学校要覧には、「6番」高校の教育の特色について「本校三年間の教育は、単に高校卒業の資格を得るための手段ではなく、人生の研修の場である」と記されている。

さらに「本校教育のよりどころとなっている浄土真宗の念仏（南無阿弥陀仏）の教えは、思い思いに自分の都合のよい願い事を神仏に祈るというような功利的な宗教ではない。親鸞聖人90年の生涯は『人生をむなしく過ごしてはならない』という阿弥陀仏の本願に報いる心によって貫かれていた。／本校教育の意味はひとりひとりの生徒がその本願に目覚め、かけがえのない自分の人生の方向をきりひらいていくところにこそある。…例えどんな家庭に生まれようとも、どんな境遇にあろうとも、決して卑屈になったり、観念の世界に避難したり、あるいは自己過信に酔うことなく、自分がおかれている現実を正しく受け止めて、心から安んずることのできる明るい世界に目覚めていくことこそ、もっとも主体的な行き方ではないだろうか。それゆえに本校では、まず『よい暮らしをするためにはどうしたらよいか』ということよりも、『生きるということはどういうことなのか』という人間のいちばん大切な問題をごまかさずに追求するのである。見せかけの美しさよりも自分自身の力で堂々と人生をきりひらき前進していく底力を身につけた人になること、それが本校の願いなのである」とも記され、浄土真宗の教えに根ざした教育を目指していることが明記されている。

教育課程においては、「進学コース」（大学進学を目指す生徒のためのコースで、面接試験のみで選抜：1学年20名）、「普通コースA」「普通コースB」（Bは、スポーツ、芸術活動などに熱心に取り組んでいる生徒のためのコースで、1学年70名については面接試験のみで選抜する）の各コースを設置し、普通コースについては英語や数学などに、習熟度別の授業も行っている。

3. 生徒指導及び宗教教育の特色

(1) 学校要覧から

学校要覧の「生徒指導」の項に「激しく変化する社会の中で、さまざまな刺激や流行に振りまわされることのない落ちついた教育環境を守っていただきたい。その中で真に自己を見つめて積極的に本校の姿勢を自己の姿勢となし得る生徒こそ、ひるがえって、あらゆる環境に適応し、自分の持つ個性を発揮して成長していくもの信じていい」「生徒の個人的な失敗をいわゆるみせしめ的な処罰をもって処分することは、本校のとるところではないが、反面多くの諸規則、制靴・制服・頭髪・オーバーに至るまで規定が設けられており、男女交際に関する一定のルールが決められている。要は健康で明るい高校生活を過ごすために設けられた約束事であり、さらに本校が健全な社会人、家庭人となるためのトレーニングの場であることを自覚するならば、わずらわしく思える諸規則も決して生徒を束縛する鎖とはならないであろう。生徒はその訓練に身を置きながら、自分自身の充実した高校生活とは何かを真剣に考えていくのである」と記されているように、「6番」高校のひとつとして、校則の厳しさを上げることができる。

学校のパンフレットにも「清潔」と記されたページが設けられ、「まじめに努力しようとする者が、のびのびと活動できる清潔な生活を保証します」「きちんとした服装、身だしなみ、清潔な生活を妨害する生徒は一人もいません」との記述を見ることができる。

(2) 「申し合わせ事項」から

この校則の厳しさについては、合格発表後、入学手続きをする前に『健康な高校生活をおくるために一申し合わせ事項』というプリントを通じて、事前に生徒や保護者に通知されている。その内容は、次のとおりである。

- ◇「A 学業について」：「本校は、『できなければだめだ』ということはありませんが、それは『できなくてもいい』ということとは違います。」など概略的な心構えについての説明
- ◇「B 校内生活について」：「ネームプレートを学校にいる間は必ずつけて、全部の先生、生徒に自分を見ていてもらいましょう」など13項目
- ◇「C 校外生活について」：「喫茶店、カラオケボックス、ボーリング場、ゲームセンターへの立入禁止」「食堂の利用は午後2時までとする」など15項目
- ◇「D アルバイトについて」：原則として禁止「在学

中の経費の負担はあくまで保護者の責任」「家庭の中で働くことがいくらでもあるはず」「高校時代に家庭内の仕事を母親から学び、身につけることが大切」などの理由が記されている

◇「E 服装について」：「服装についての申し合わせは、学業とともに本校の生徒のもっとも大切なことです」と前書きがあり、制服以外に、靴、オーバーが学校規定のものであること、タイツとソックスの色が決められている。

「頭髪」については「常にブラウスの襟が見えるようにきちんと切る。長い髪は、三つ編みにする。ペーマ、脱色、カーラーやドライヤーで癖をつけることはしない」と記されている。

この他にも「F 男女交際について」などがあるが、『申し合わせ事項』のプリントの冒頭には、「この申し合わせは、『6番』高校の生徒として、健康で充実した生活が送れるように、生徒と先生が一緒に考えて、約束し、決められているものです。／うるさすぎる、きびしそうだと感じるかもしれません、本校に学んでいる大部分の生徒はあたりまえのこととして受けとめています。中には、他の学校と少し違ったところもあります。しかし、他の高校と同じである必要はありません。／むしろ、これが本校の特色であり、学ぶものの特色です。この違いに誇りをもてるような生徒になって下さい。／このプリントは、卒業まで大切にして、いつも目を通しながら自己の成長の材料にしましょう。」と記されており、こうした規則の厳しさを学校の特色とすることが謳われている。

(3) 宗教教育との関連

こうした校則の厳しさが、宗教教育以上に、「6番」高校の特色となっていることは、十分考えられる。しかし、このことは、「6番」高校が宗教系の私立学校であること全く無関係であるとはいえないだろう。例えば、それは、1年生の「仏教」の時間のテキストとして用いられている、学園長の著作に見られる以下の記述を見れば推察される。

◇「親鸞はよく『自然』ということばを使っていますが、それは『わたしが』とか『わたしこそは』という気持ちがまったくまじっていない状態なのです。／だから南無阿弥陀仏と、となえる念佛の心は、あの素直に伸びていく、青い麦の心ではないでしょうか。」

◇「蓮如が、こんな話をしています。『他人の悪いことは、何でもよく気がつくものだが、自分の悪いことは気づかないものである。もし自分で悪い時がつくこ

とがあったら、それはよほど悪いことをしたので自分でも気がついたのだ、と反省して、自分の心をあらためなくてはならない。もし他の人が注意してくれたならば、ありがたく、すなおにうなづくのがよいでしょう』（下線は筆者：以下同様）

◇「先生は、きょうもホームルームで次のように注意する。『制服はきちんと着なさい。バッジはついていますか。上履きのカカトをふんでいる人はいないでしょうね』『パーマネントやピンカールなどもってのほかです。学生らしい髪型にしなさい』…／あなたは、耳にたこができるほど同じことを、入学以来くりかえし、くりかえし聞いてきましたね。／あなたは次のようにいう。「…先生もあんなことを注意するけど、どうせ人間は年をとって死ぬんでしょう。私たちはまだ若いんですよ。だから今のうちに、好きなことをやっておかなくちゃ損だわ。学校の規則なんて、私たちの自由を、鎖でしばっているんじゃないから」…／あなたは、毎日の生活の中で、「どうせ…だから、わたしは…しなければ損だ」と考えることが多いですね。…／あなたは、馬鹿正直に行動すれば、みんなに、『あの娘は模範生ぶっている。先生のごきげんとりだ』といわれる。そんなことをいわれると、あなたの自尊心がきずつけられる。あなたはそんなふうに考えているに違いない。…あなたは、ほんとうはどういう生活態度が望ましいか、ということはよく知っているながら、お友達に、模範生ぶっているとか、先生のお気にいり、などといわれると損だと思っているのでしょうか。…／あなたは、『わたしは自由だ、若いうちに好きなことを』と考えていましたが、よくあなた自身反省してみると、その自由だと思っていたことが、みんなあなた自身が勝手に作り上げた法則であって、その法則を作っていたのは、実はあなたの、あさましい欲望やみにくい虚栄心ではないでしょうか。／『そのむかし、間違った考え方を持つ人があって、阿弥陀如来の願いは、わるいことをしたものを持たせるそうだ、といって、堂々と悪事をはたらきだしたときに、親鸞聖人のお手紙の中には、よく効く薬があるからといって、毒をのんではいけないと、書かれていましたが、それはそういう間違った考え方を、やめさせようとするお心だったに違いありません』…／これは七百年も前に、唯円が親鸞から聞いたお話です。でも今のあなたには、このお話が、あなたに呼びかけていることがわかるでしょう。／あなたは、毎日『薬があるから』といって『毒をのむ』ような生活をしているのではないでしょうか。

そういうことがわかってくると、今まで馬鹿正直に見えたことも、ひとつひとつ、よろこんで実行できるのでしょうか。先生の注意も…今までのように、『わたしの自由を束縛する』だとか『古い考え方をおしつける』とか、いわなくてもいいような、もう一步進んだ心の世界があるのではないか。／それは決して、どんなむりなことでも、はいはいと聞くような卑屈な気持ちではないのです。あさましい欲望や、みにくくい虚栄心に動かされない、素直な心によってのみ、うなづくことができるのではないか。』

下線を引いた箇所に着目する時、生徒にとっては「自由を束縛される」と感じられることについても、学校側は、かなり厳格に校則を適用していることが推測される。学校のパンフレットにある「まず、ひたすら『聞く』こと。『6番』高生活は、ここから始まります」という言葉や「自由と勝手というのは違うということは話しています」という、教師の説明からもそのことは印象的であった。

(4) 清掃活動について

学校要覧には、「本校における労作」という項がある。そこには、「朝夕、校舎の内外を清掃し、常に整理整頓を心がけることはとても大切なことである。このことは単に周囲をきれいにしたり、学習をしやすくするためというそれだけのことではない。…すばらしい生活環境を、みんなで協力し、真心こめてみがきあげ、造りだすことが自分を生かし、自分の個性を表現することであると考えている」と記されている。

また、先の『申し合わせ』にも「美化」の欄が設けられ、「ことに心と身体を清らかに成長させる学校において大切な日課」として清掃を位置づけ、その目的は、「単に外見を美しくととのえたり、人に見せるためにするのではなく、自分が成長するため、自分の内面を美しく育てる、最も基礎的なことだから」と同じ主旨のことが書かれている。

この点も、「6番」高校の特色の一つとしてあげておいてよいだろう。

宗教教育との関連を十分に示唆しているか否かは定かではないが、例えば、坂本秀夫は、「自給自足の寺院の掃除と、学校のそれとはあまりにも異質ではなかろうか。学校掃除の時だけ仏教を引き合いに出すなら、仏教も迷惑というものであろう」と留保しながらも、「掃除を重視する人たちは、掃除に仏教的な『行』を求めているのかも知れない」と、その関連性を示唆している⁶⁾。

「6番」高校では、高校2年生時に東本願寺に参拝し

法話を聞く「東本願寺研修」を行っている。その研修には、本堂の清掃奉仕を行うことも含まれていることを考え合わせると、この清掃の重視も確かに、「6番」高校が宗教系私立学校であることとは何らかの関係があると思われる。

当然のことながら「校則」「清掃の重視」以外にも「6番」高校には様々な特色がある。例えば、高校1年生時に行われる「移動教室」では、2泊3日の間に長時間のフリートークの時間をとり、生徒が互いに各自の持っている具体的な悩み（中学校時代にいじめられていたことなど）が語り合われ、相互の理解、親睦の深まりがすすめられている。また、「釈尊降誕会」「報恩講」などの宗教行事は、講話を通じて人生のよろこびに目覚める機会として設けられている。

ただ、それとともにあるいはそれ以上に、こうした校則や清掃面は外部からの目につきやすい特色である。このことについて坂本秀夫は、「学校を訪れた者にとって学校の印象は生徒の髪型・服装・清掃状態、そして生徒の礼儀作法によって決まる、といっても言い過ぎではないだろう。いずれも外面向的なもので本当の学校教育内容とそれほど関係はない。学校の価値は外来者に容易にわかるものではない、とわたしは経験上信じている。／しかし外来者による学校の印象は大切である。外部から学校を評価する場合、大学や進学成績のほかには、この外来者の印象しかないのである。学校の評判を上げようとするには進学成績を上げなければならない。これは容易にできることではない。しかし、外来者の印象をよくすることは比較的容易である。まず外観をきちんとさせることだ。」と整理している⁷⁾。「6番」高校の場合、すでに見たように「外面向的なもので、本当の学校教育内容とそれほど関係はない」というのは正しくない。しかし、こうした外面向的な特色が地域の住民や保護者に対して安心感をもたらすものであり、信頼を得る事につながることは、間違いないだろう。

4. 生徒の評価

それでは、こうした「特色」を持つ「6番」高校の教育内容に対して、生徒はどのような感想を持ち、どのような態度をとっているのだろうか。以下は、高校2年生156名に対するアンケート調査の結果をもとに考察したものである。

(1) 総合評価

生徒は、現在「『6番』高校に入学したこと」について

てどのような感想を抱いているのだろうか。表1に示すように、無条件に「よかった」と思う生徒が4割弱、「期待はずれのところもあるがよかった」と思う生徒が約3割である。また「わからない」と判断がつきかねている生徒が1割強いる。そして、残念ながら「期待はずれのところが多く失敗だった」と思っている生徒が、24人いる。

他校での調査と比べてみると、この数字は、わずかながら、学校生活に「期待はずれ」との感想を抱く生徒が多いことを示している。ちなみに「6番」高校のあるY県の高校9校と首都圏の高校1校について行った今回の調査の平均に比べると、「期待はずれのところもあるが…」という条件付きの回答も含めて「よかった」と答えた生徒数が「6番」高校では約1割程度低いことがわかる。また、これとは別に独自に実施した他県の宗教系私立学校T高校へのアンケート調査では、同様の質問に対し、ほぼ9割の生徒が肯定的な回答を寄せていることも付記しておく。

こうした生徒の評価は、生徒自身の学校生活にどのような影響を与える、またそれは何に起因するものだったのかを考えてみたい。

(2) 総合評価と学校生活との関係

表2～4は、それぞれ「授業に臨む態度」「『学校に行きたくない』と感じる日の多さ」「学校に行く楽しさ」についての質問に対する回答である。予想されることはあるが、確かに「よかった」「期待はずれもあるがよかった」「失敗だった」の順に、授業に向かう熱心さや学校生活に対する意欲が薄れていく傾向を見てとることができる。特に、表3・4において「失敗だった」と感じる生徒のうちの過半数が、月に数日以上も「学校に行きたくない」と感じ、また学校に行くのが「楽しくない」と感じていることは、生徒たちの不適応を引き起こしかねない点であり、留意する必要がある。

また、先に上げた通り、「6番」高校の「特色」のひとつとも言える学校での清掃活動に対する態度も、総合評価と大きく関係している。表5に示されるように、肯定的な評価を下している生徒は、過半数が「きちんと清掃活動をしている」と答えているが、「失敗だった」と思っている生徒では、7割が「していない」と答えている。清掃活動に熱心に取り組むことを重視している学校であるが故に、このことも授業態度同様に、生徒の不適応を示していると言うことができる。

(3) 総合評価が起因するもの

それでは、こうした評価は何に起因するものなのだろうか。ここでは、「教師・友人との関係」「学力」「その他の学校生活全般」「入学の動機」との関係を中心に探ってみたい。

①教師・友人との関係

表6は、教師についての印象を聞いた質問である。「生徒の気持ちや悩みを理解してくれる先生」の割合は、一般的に言って高くない。むしろ、「6番」高校の場合は、他校に比べるとやや高いほどである。しかしながら、生徒の評価が下がるにしたがって「生徒の気持ちや悩みを理解してくれる先生は少ないと思う」という意見が増加していく。高校生という発達段階においては、こうした回答が多くなることは予想できる。ただ「失敗した」と感じた生徒24人のうち誰一人として「気持ちや悩みを理解してくれる先生は多いと思う」という回答を寄せてはいない。これは、少々残念に思われた。

それでは、生徒が、教師に対して具体的にどのような不満を持っているかを、先生に対する不満や要望についての自由記述欄の内容を通して見てみよう。

この学校で、教師に対する不満や要望とした挙げられていたものは、④校則など学校の規律が厳しいこと、⑥生徒には、教師が成績の良い生徒とそうでない生徒との扱い方が違うように思えること、⑦授業の進め方等についての要望、が主なものであった。

中でも④の校則についての意見は極めて多い。具体的な校則の内容に及ぶものとして「髪型を自由にしてほしい。校則が厳しすぎる。」「寒い時には校外でも何か着させてほしい。」などの意見もあるが、むしろその背景にある教師との信頼関係を望むのも意外に多い。「夢を育てたり、自分の主張を探すのが学校だと思うので、もう少し先生方も認めてほしい。」「全然私たちを信じていないし、理解してくれていない。」「生徒を信じてほしい。もっと自由にしてほしい。もっと生徒の意見を取り入れてほしい。」などがそれである。この信頼関係を要望する意見は、「生徒のやりたいようにいろいろやらしてほしい」「少しあせっかいだと思う。」「あまりにも生徒の私生活や学校外の活動に関してとやかく言うことが多い。」などに見られる、自分の勝手気ままな学校生活を望む声とは違い、生徒自身もその意味を考えたものであると考えられる。

次に⑥については、「人を差別したりしないでほしい」「頭の良い人とあまり良くない人の態度が何となく違う」「成績の上の方の人と下の方の人への差別があり過ぎ」「気にいった生徒にしか目をかけない」「あまりひいきを

しないでほしい」などの意見が見られる。一般に、教師は生徒の努力を正当に評価しようとしてもこうした印象を持たれがちなところがある。しかし、気にかかるのは、「立場や外面ばかり気にして生徒にとって何が一番良いのかを考えていないところがある」「学力を上げることしか考えていないような気がする」という意見や「本当に心から信頼のおける先生がいないと思う。学校へのメリットばかり気している先生が多い」という意見である。特に「進学コース」を設けるなど、進学や就職の実績を上げるということに力を注いでいる点がゆがんで受け止められ、先の意見につながっているとすれば、やや気がかりである。

学校側としては、「努力した生徒はほめてやりたい。しかしだからといって、それ以外の生徒はだめだということは言っていない」と考えている。学校要覧の表現を借りるとすれば「『だめな人は一人もない』という親鸞聖人の浄土真宗の教えに学ぶ」という点を重視していると説明する。

最後に、④の授業の進め方については「一人で勝手に授業を進められても良くわからない。話をもっと楽しくしてほしい。」「分かりやすく授業をしてほしい」「先生一人でどんどん授業を進めないでほしい。もっと生徒一人一人を見てほしい」などの意見が見られた。

実は、こうした意見は「期待はずれだった内容」を書かせる自由記述欄にも多く記されていた。この欄でも校則の厳しさを指摘する生徒が多く、「校則があるから厳しい。もっと自由にして欲しい」「規則が厳しすぎるところ」「きまりが多すぎる」「義務教育ではないのに厳しすぎる」「こんなにも生活が厳しいものだとは思わなかった点」「普段の行動を抑えられ過ぎている」などの記述が見られた。

学校に対する総合評価を下げる要因として、生徒と教師の関係について見てきたが、生徒の総合評価と教師に対する信頼感との間には、ある程度の相関関係が見られるようで、低い評価の根底には、教師に対する不満があることが推察される。それは、具体的には、「6番」高校の「特色」の一つである厳しい校則を通じて、生徒が「教師が生徒を信頼してくれていない」と思ったり「生徒の気持ちを分かってくれない」という感想を抱くことと深くかかわっていることが明らかとなった。

一方、友人関係もまた、教師との関係と同じように、いくらか総合評価に影響を与えているようである。表7に見るように、友人の数は、「よかったです」「期待はずれもあるがよかったです」「期待はずれが多く失敗だった」の順に減っている。生徒にとって「親しい友人がおおぜいい

るかどうか」も学校に対する評価を下す際の一つの鍵になっているようである。

さらに表8にしめされるように、「失敗だった」との評価を下した生徒は、ほかの生徒に比べて、友だち関係や、先生との相性の問題で悩んでいる割合が高いことも指摘しておきたい。

②学力

表9に見られるように、自分が自分の学年として必要な「学力」をつけていると感じている生徒は少ない。表8にも見られるように「学力の問題」は過半数の生徒の「悩み」なのであり、生徒の総合評価との関係は見えにくい。つまり、生徒のほとんどが悩んでいる問題で、何も「失敗した」と感じている生徒に限ったことではないのである。ただ、表10に示された「自主的な行動力」と比べてみれば、「まったく身についていない」にいくらかの差が見いだされ、学力の問題も何らかの影響があるようにも思われる。ただ、いずれにしてもそれはわずかであろう。

③その他の学校生活全般

表12~15は、学校生活全般についての生徒の意見と総合評価との関係を見たものである。「宿題の量」「学校行事の量」「進路指導」「施設・設備」のそれぞれについて見ているが、そのうち相関関係があると思われるのは、「学校行事の量」と「施設・設備」についての生徒の感想で、「失敗だった」と感じている生徒には、「学校行事の量は現状でよい」という意見が少なく、また「施設・設備」が大変悪いという感想を寄せる生徒が若干多くいた。

宗教系私立学校としての「特色」で、先述の「東本願寺研修」の他にも「釈尊降誕会」「報恩講」などの宗教行事が行われていることもあり、「学校行事」に対する意見は検討する必要もあると思われるが、それについては別の機会に譲らざるを得ない。

いずれにしても、先の①②に比べれば、相関関係はやや低いように思われた。

④入学の動機

総合評価において「期待はずれだった」点があることを指摘した生徒にとって、どこが期待はずれだったのかについて自由に記述してもらったところ、先に見たように、そこでも、まず校則に対する不満が多く寄せられていた。ただここでは、むしろ、入学前の「期待」ということとの関連から、次のような意見に注目しておきたい。「思ったよりも厳しくていやだ」「規則がこんなに厳しかったとは知らなかったから」という意見がそれである。前者からは、ある程度、規則が厳しいことを承知した上で

入学している様子がうかがえる。しかし後者は、志望校選択の際に、その面への十分な検討がなされていなかったことを想起させる。

生徒が、どのような判断に基づいて「6番」高校を選択し、そのことが入学後の総合評価にどのように関わっているかについて示したのが、表16である。学校選択の理由として、全般的に多くの生徒が上げているのは、「中学校の教師に勧められたから」「自分の学力水準に適しているから」「服装態度がきちんとしているから」「将来の職業に結びつくから」「大学進学に有利だから」等の理由である。特に、6割の生徒が中学校の教師の勧めによって「6番」高校を選択していることは注目に値する。先述の通り、面接試験のみの入学審査で過半数の生徒を選抜するという事情も、影響していると推察されるが、他の学校への調査で見るかぎり、これほど多くの生徒が、中学校の教師の勧めによって入学する学校は少ない。このことが2割以上の生徒の入学の動機になっているのは、「6番」高校だけで、平均は、1割強の生徒がそれを動機にしているに過ぎない。このことは、「6番」高校が中学校との連携を極めて有効な形でとっていることを示していると考えることもできる。

総合評価と入学動機の関係を見ると、いずれも第1・第2の理由は「中学校の教師に勧められた」「自分の学力水準に適している」である。しかし現在、入学して「よかった」と回答した生徒の場合は、以下「服装・態度がきちんとしている」「見学した時の印象がよかったです」となどの動機をそれぞれ5割、3割の生徒が上げているのに対し、「期待はずれのところもあるがよかった」と感じている生徒の第3、第4の入学の動機は「大学進学に有利だから」「将来の職業に結びつくから」であり、「失敗だった」と感じている生徒については、「女子校だから」「将来の職業に結びつくから」といった動機が第3、第4に上げられている。

のことから、総合評価が下がるにつれて、入学の動機に積極性が失われていく傾向を見てとることができる。総合評価の高い入学動機の中には、「6番」高校の「特色」が高い割合で含まれている。例えば「服装・態度がきちんとしている」「見学した時の印象がよかったです」となどの動機は、総合評価の高い生徒の入学の動機であり、総合評価が下がるにつれて次第に少なくなっていく。逆に、総合評価の低い生徒の入学動機は、「中学校の教師に勧められた」が約7割の生徒によって支持され、「自分の学力水準に適している」を上げた生徒が3割、「親が決めたから」という生徒が2割というように、学校の特色以外の「外」からの動機づけであることが分かる。

さらに、予想される様々な入学の動機を挙げた他の選択肢はさほど選ばれておらず、先の三つの動機のみが選ばれていることは、結局のところ学校の選択がさほど積極的なものではなかったことを示している。

実際に、「失敗だった」との感想を抱く生徒の中には、「自分の学力水準に適している」を選択した上で「しうがなかった」と記している生徒や「他に行ける学校がなかった」と記している生徒もいる。また「楽だったから（推薦だったから）」と記している生徒もいる。これらは、学校の選択が「特色」とは全く無関係に行われていることを示している。

また、当然予想されることながら、表17が示すように、入学志望順位が下がるにつれて、総合評価も下がっている。特に「よかった」と思っている生徒の過半数が、「6番」高校を第1志望としていたのに対し、「失敗だった」と思っている生徒の半数が第4志望以下もしくは特に志望校ではなかったと回答している。

以上のように、生徒の学校選択の理由、すなわち入学の動機と、入学後の生徒の評価には極めて高い相関関係があることが分かる。特に、生徒が、その学校の特色を本当に理解して入学するかどうかは重要な鍵になっている。

(4) 他校との比較

①特に入学の動機から

ところで、他校の入学の動機と、「6番」高校の入学の動機との間にはどのような差があるだろうか。表16-2は、他校の平均をそれぞれの項目について列記したものである。

そこに示されているように、「通学に便利」「大学進学に有利」という理由は、「6番」高校の場合、平均よりもかなり下回っている。一方、平均を上まわっているのは、「生徒の態度や服装がきちんとしている」「中学校の教師に強く勧められた」「高校を見学した時の印象が良かった」という理由であった。本来であれば、大事な「特色」のはずである「宗教教育の特色があるから」という理由を入学の動機の一つにしたのは、わずか2名に過ぎなかった。おそらくこれまで見てきたように、「宗教教育」そのものよりも、この「6番」高校が「特色」として意識的に取り組んでいるのは、そこから引き出される「態度や服装をきちんとしてすること」であり、その点については、「特色」作りが一定の成果を上げているということが出来よう。ただ、「宗教教育」が学校選択の理由になっていないということは、冒頭の私立学校ブームとまったく無関係ではないことも示しているだろう。

また、「中学校の教師に強く勧められた」ことが、学校と中学校の連携を想起させることは既に述べた通りであるが、加えて学校側が、その特色を広く知らしめる努力をしていることは「高校を見学した時の印象が良かった」という動機によく示されている。表18は、「6番」高校では、学校側が中学生に対して積極的な働きかけを行っていること、特に、多くの生徒が、中学3年生に「施設・設備の見学」「授業や実習の見学」「高校の先生から説明を聞くこと」をしていることを示している。他校の平均では、それぞれについて「した」と答えた生徒が、27%, 11%, 37%に過ぎず、「6番」高校がこの点に力を入れていることを示している。特に、授業や実習の見学は、入学後の総合評価ともいくらかの相関関係を見てとることが出来るようである。

②学校生活の諸側面に対する評価

表19~27は、以上触れてきた点のほかに、この意識調査を通じて明らかになった「6番」高校の学校生活の諸側面である。表21、表22に見られるように現金や現金以外の盗難については、その発生率が低いようである。生徒からの暴力行為がないのは、女子校であることとも関係しているであろう。そのほかについては、他校との間にはさほど大きな差は見られない。

5.まとめ～私立学校の「特色」と学校の評価・選択・経営～

特殊日本的に展開したとされる私立学校ブームの中で、私立学校が「学力」以外の「特色」を持つとする時、何が必要とされるのであろうか。

「6番」高校の生徒の感想を見るかぎり、何よりもその学校の「特色」が他ならぬ生徒自身に理解されているということが重要である。むしろそのことは、学力（例えば進学率の高さ）を特色とした場合よりも一層よく理解されていなければならないと言えるであろう。そしてそれは、中学校の教師や親ではなく、あくまでも生徒自身の理解でなければならないこともここまで見てきた通りである。

したがって、学校側にとってもその「特色」をできるだけ正確に、分かりやすく伝えることが必要となるだろう。「夢を大切にすると言ったはずなのにそれについてかなりばかにする」「自分の夢があり、理解して欲しいと思っていたが、自分の言い分はまったく無視されてしまった」「もっと自由で一人一人の個性を伸ばしてくれるところだと思っていた」「入学前に聞いていた授業内容と全然違う」などの意見は、今回の調査でも寄せられている。「6番」高校の場合は、その特色を様々な機会

を通じて伝えようとしているがそれでもこうした感想があることは、生徒がその「特色」を求めて入学して来る中で、その生徒の意志を受け止め、それにそった教育内容を提供することは容易ではないことを示している。

宗教系私立高校である「6番」高校でのアンケート調査を通じて、生徒にとっては、学校選択はその「特色」を良く理解し、それを求めて入学することが望ましいこと、学校・教師は、正確な情報を伝えると共に「生徒は何かを求めているか」を把握しながら、自らの「特色」を築く必要があること、が、明らかとなった。これらは、いわば予想はされ得ることであるが、改めてこのように確認してみると、特に「特色」作りの点などについては、こうした評価をもとに、繰り返し「問い合わせ直す」ことの必要性を示唆しているとは言えないだろうか。常に生徒や親の「評価」に耳を傾ける契機がもたれるべきであり、そうした契機が多ければ多いほど、生徒や親、学校との一体感が高まるだろう、そして、それはまず私立学校においてこそ築きやすいもののように思われる。

註

- 1) 『'94首都圏版 私立中学ガイド』(旺文社 1993)
- 2) 石戸教嗣「教育における『公』と『私』：その理念的考察」(日本教育社会学会編「教育社会学研究第52集 教育における『公』と『私』 1993) pp.12-17
- 3) 『新しい時代に対応する教育の諸制度の改革－第14期中央教育審議会答申－』(文部省 1992)
- 4) 拙稿「宗教的情操の教育に関する一考察」(東京大学教育行政学研究室紀要第13号 1993)
- 5) 鎌熙道「『宗教と教育』に関する宗教学校の実態について」(『宗教教育の理論と実際』 日本宗教学会「宗教と教育に関する委員会」編 すずき出版 1985) pp.309-310
- 6) 坂本秀夫『「校則」の研究』(三一書房 1986) p.138
- 7) 同上『「校則」の研究』p.96

「高校生の生活・意識調査」～「6番」高等学校生徒の回答（抜粋）～

◇以下の表は、「6番」高校生徒への意識調査（有効回答数：156）から、現在の学校に対する評価は何が根拠かを探ったもので、（ ）内は、総数、学校に対する評価内別に、質問に対する回答の割合を%で示している。

【表1】 Q24 あなたは今の学校に入学したことを、現在どう思っていますか

	よかったと思っている	期待外れのところもあるがよかったと思う	期待外れのところが多く失敗だったと思う	わからない
6高校	61 (39.1)	52 (33.3)	24 (15.4)	19 (12.2)
対象校平均	(48.2%)	(32.9%)	(11.5%)	(7.4%)
T高校	(63.1%)	(24.1%)	(6.3%)	(6.5%)

●授業態度について

【表2】 Q1-A あなたは熱心に授業を受けていますか ×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったと 思っている	期待外れもあるが よかったと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
熱心に受けている	9 (5.8)	8 (13.3)	1 (1.9)	0 (0.0)
普通だと思う	120 (76.9)	45 (75.0)	44 (84.6)	15 (62.5)
あまり熱心ではない	27 (17.3)	7 (11.6)	7 (13.4)	9 (37.5)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表3】 Q2-H あなたは「今日は学校に行きたくないなあ」と感じる日がありますか。

×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったと 思っている	期待外れもあるが よかったと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
ない	24 (15.5)	14 (23.3)	8 (15.4)	0 (0.0)
月に1日くらいはある	32 (20.6)	19 (31.7)	9 (17.3)	0 (0.0)
月に2～3日くらいはある	37 (23.9)	13 (21.7)	15 (28.8)	3 (4.1)
月に数日はある	54 (34.8)	14 (23.3)	17 (32.7)	16 (66.7)
その他	8 (5.2)	0 (0.0)	3 (19.2)	5 (20.8)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表4】 Q 2-L あなたは学校へ行くのが楽しいですか

× 今の学校に入学したこと現在どう思っていますか

	総 数	よかったと思っている	期待外れもあるがよかったと思う	期待外れが多く失敗だったと思う
楽しい	49 (31.4)	30 (50.0)	14 (26.9)	1 (4.2)
楽しくない	28 (17.9)	3 (5.0)	8 (15.4)	14 (58.3)
どちらともいえない	79 (50.6)	27 (45.0)	30 (57.7)	9 (37.5)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表5】 Q 2-K あなたは学校での清掃活動をきちんとしていますか

× 今の学校に入学したこと現在どう思っていますか

	総 数	よかったと思っている	期待外れもあるがよかったと思う	期待外れが多く失敗だったと思う
している	91 (58.3)	41 (68.3)	33 (63.5)	7 (29.2)
していない	65 (41.7)	19 (31.7)	19 (36.5)	17 (70.8)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表6】 Q 3-A 生徒の気持ちや悩みを理解してくれる先生は多いですか

× 今の学校に入学したこと現在どう思っていますか

	総 数	よかったと思っている	期待外れもあるがよかったと思う	期待外れが多く失敗だったと思う
多いと思う	23 (14.7)	19 (31.6)	3 (5.8)	0 (0.0)
少ないと思う	62 (39.7)	13 (21.7)	24 (46.2)	18 (75.0)
どちらともいえない	39 (25.0)	15 (25.0)	16 (30.8)	3 (12.5)
わからない	32 (20.5)	13 (21.7)	9 (17.3)	3 (12.5)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表7】 Q 1-C あなたは学校に親しい友人がいますか ×今の学校に入学したこと現在どう思っていますか

	総 数	よかったと思っている	期待外れもあるがよかったと思う	期待外れが多く失敗だったと思う
おおぜいいいる	80 (51.3)	39 (65.0)	27 (51.9)	5 (20.8)
少ないが、いる	72 (46.2)	21 (35.0)	24 (46.2)	18 (75.0)
いない	4 (2.6)	0 (0.0)	1 (1.9)	1 (4.2)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

学校の評価、選択、経営に関する研究

●悩みについて

【表8】 Q12 あなたの悩みについておたずねします ×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか
(複数回答)

	総数	よかったと思っている	期待外れもあるがよかったと思う	期待外れが多く失敗だったと思う
ない	19 (12.2)	9 (15.0)	5 (9.6)	1 (4.2)
学力の問題	85 (54.5)	31 (51.7)	30 (57.7)	14 (58.3)
友だち関係	57 (36.5)	16 (26.7)	22 (42.3)	12 (50.0)
異性関係	33 (21.2)	4 (6.7)	13 (25.0)	12 (50.0)
「部活動」での人間関係	21 (13.5)	7 (11.7)	10 (19.2)	3 (12.5)
身体の問題（身長・容姿等）	62 (39.7)	20 (33.3)	25 (48.1)	12 (50.0)
健康の問題	19 (12.2)	7 (11.7)	6 (11.5)	5 (20.8)
H R 担任との相性の問題	6 (3.8)	1 (1.7)	2 (3.8)	3 (12.5)
教科担任との相性の問題	9 (5.8)	1 (1.7)	4 (7.7)	4 (16.7)
親との意見の違い	20 (12.8)	5 (8.3)	6 (11.5)	8 (33.3)
学校でいじめられている	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
学校に行けない（不登校）	1 (0.6)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)
進路の問題	94 (60.3)	36 (60.0)	29 (55.8)	17 (70.8)
その他	6 (3.8)	2 (3.3)	2 (3.8)	2 (8.3)

●現在の学力や能力についての自己診断

【表9】 Q17-A あなたは自分があなたの学年として必要な「学力」を身につけていると思いますか
× 今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総数	よかったと思っている	期待外れもあるがよかったと思う	期待外れが多く失敗だったと思う
じゅうぶんに身につけている	2 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
身につけている	29 (18.6)	17 (28.3)	9 (17.3)	2 (8.3)
あまり身につけていない	87 (55.8)	33 (55.0)	33 (63.5)	8 (33.3)
まったく身についていない	21 (13.5)	6 (10.0)	5 (9.6)	8 (33.3)
わからない	17 (10.9)	4 (6.6)	5 (9.6)	6 (25.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表10】 Q17-B あなたは、あなたの学年にふさわしい「自主的な行動力」を身につけていると思いますか
 ×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
じゅうぶん身につけている	3 (1.9)	1 (1.6)	1 (1.9)	0 (0.0)
身につけている	41 (26.3)	13 (21.7)	20 (38.5)	5 (20.8)
あまり身についていない	74 (47.4)	34 (56.7)	19 (36.5)	12 (50.0)
まったく身についていない	10 (6.4)	3 (5.0)	3 (5.8)	1 (4.2)
わからない	28 (17.9)	9 (15.0)	9 (17.3)	6 (25.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表11】 Q3-B 先生が生徒に対して要求している「学力水準」は高いと思いますか
 ×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
高いと思う	19 (12.3)	5 (8.3)	6 (11.5)	4 (16.7)
普通だと思う	78 (50.3)	34 (56.6)	30 (57.7)	6 (25.0)
低いと思う	13 (8.4)	4 (6.6)	5 (9.6)	4 (16.6)
わからない	45 (29.0)	17 (28.3)	11 (21.1)	10 (41.6)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表12】 Q1-C 宿題の量についてたずねます ×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
多すぎる	16 (10.3)	4 (6.6)	5 (9.6)	4 (4.2)
適度である	128 (82.1)	48 (80.0)	44 (84.6)	19 (79.2)
少なすぎる	12 (7.7)	8 (13.3)	3 (5.8)	0 (0.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

学校の評価、選択、経営に関する研究

●学校行事について

【表13】 Q4 あなたの学校の年間を通しての学校行事についてあなたはどのように感じていますか

× 今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
多すぎる	27 (17.3)	4 (6.7)	11 (21.2)	8 (33.3)
現状でよい	84 (53.8)	45 (75.0)	28 (53.8)	5 (20.8)
もっと増やしてほしい	25 (16.0)	5 (8.3)	10 (19.2)	5 (20.8)
わからない	20 (12.8)	6 (10.0)	3 (5.8)	6 (25.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

●進路指導について

【表14】 Q5 学校での「進路指導」について、あなたはどのように感じていますか。

× 今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
満足している	35 (22.9)	21 (35.0)	9 (17.3)	3 (12.5)
先生と話す機会が少ない	27 (17.6)	11 (18.3)	10 (19.2)	1 (4.2)
進路についての情報が少ない	52 (34.0)	19 (31.7)	19 (30.8)	9 (37.5)
学校の進路指導の方針が不	29 (19.0)	6 (10.0)	8 (15.4)	10 (41.7)
先生の熱意が感じられない	7 (4.6)	1 (1.6)	4 (7.7)	1 (4.2)
進路指導開始の時期が遅い	2 (1.3)	0 (0.0)	1 (1.9)	0 (0.0)
その他	1 (0.7)	※N.A-2	1 (1.9)	0 (0.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表15】 Q16 学校の施設・設備についての感想 ×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
非常によいと思う	2 (1.3)	1 (1.7)	1 (1.9)	0 (0.0)
よいと思う	11 (7.1)	4 (6.6)	4 (7.7)	1 (4.2)
普通だと思う	89 (57.1)	41 (68.3)	25 (48.1)	13 (54.2)
悪いと思う	41 (26.3)	12 (20.0)	17 (32.7)	5 (20.8)
大変悪いと思う	13 (8.3)	2 (3.3)	5 (9.6)	5 (20.8)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表16】 Q23 あなたが現在の学校・学科への入学を選んだ理由は何ですか (複数回答)

× 今の中学校に入学したこと現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
通学に便利だから	20 (12.8)	10 (16.7)	8 (15.3)	1 (4.2)
将来の職業に結びつくから	31 (19.9)	13 (21.7)	10 (19.2)	4 (16.7)
大学進学に有利だから	29 (18.6)	7 (11.7)	16 (30.8)	3 (12.5)
宗教教育の特色があるから	2 (1.3)	1 (1.7)	1 (1.9)	0 (0.0)
自分の学力水準に適している	75 (57.0)	33 (55.0)	29 (55.8)	7 (29.2)
打ち込みたいクラブがある	9 (5.8)	3 (5.0)	4 (7.7)	0 (0.0)
自分が勉強したい学科だから	6 (3.8)	2 (3.3)	3 (5.8)	0 (0.0)
服装態度がきちんとしている	45 (28.8)	30 (50.0)	9 (17.3)	2 (8.3)
世間で評判がよいから	23 (14.7)	11 (18.3)	9 (17.3)	3 (2.5)
中学校の教師に勧められた	97 (62.2)	34 (56.7)	35 (67.3)	17 (70.8)
姉が在校生・卒業生	11 (7.1)	4 (6.7)	3 (5.8)	3 (12.5)
母が卒業生	3 (1.9)	2 (3.3)	1 (1.9)	0 (0.0)
女子校だから	26 (16.7)	12 (20.0)	8 (15.4)	1 (4.2)
親が決めたから	18 (0.6)	4 (6.7)	7 (13.5)	5 (20.8)
見学した時の印象が良かった	33 (11.5)	21 (35.0)	8 (15.4)	1 (4.2)
その他	16 (10.3)	3 (5.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

【表16-2】 Q23 あなたが現在の学校・学科への入学を選んだ理由は何ですか (複数回答: 対象校平均)

回 答	
通学に便利だから	43.7%
将来の職業に結びつくから	20.5%
大学進学に有利だから	26.4%
宗教教育の特色があるから	0.5%
自分の学力水準に適している	58.1%
打ち込みたいクラブがある	10.3%
自分が勉強したい学科だから	10.3%
服装態度がきちんとしている	11.5%

回 答	
世間で評判がよいから	22.0%
中学校の教師に勧められた	14.3%
姉が在校生・卒業生	9.5%
母が卒業生	3.9%
※(男女共学だから)	21.0%
親が決めたから	4.0%
見学した時の印象が良かった	8.4%
その他	7.5%

学校の評価、選択、経営に関する研究

【表17】 Q22 あなたの学校は何番目の志望校でしたか ×今の学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
第 1 志 望	58 (37.2)	31 (51.7)	16 (30.8)	2 (8.3)
第 2 志 望	47 (30.1)	18 (30.0)	23 (44.2)	4 (16.6)
第 3 志 望	15 (9.6)	3 (5.0)	3 (5.8)	6 (25.0)
そ の 他	36 (23.1)	8 (13.3)	10 (19.2)	12 (50.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

●中学3年生時の高校見学について

【表18】 Q21-A 施設・設備を見学しましたか／Q21-B 授業や実習をしましたか

Q21-C 高校の先生から説明を聞きましたか × 学校に入学したことを現在どう思っていますか

	総 数	よかったです と思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
施設・設備を見学した	78 (50.0)	38 (63.3)	22 (42.3)	10 (41.6)
施設・設備を見学しなかった	78 (50.0)	22 (36.7)	30 (57.7)	14 (58.3)
授業や実習を見学した	60 (38.7)	29 (48.3)	17 (32.7)	7 (29.2)
授業や実習を見学しなかった	95 (61.3)	31 (51.7)	35 (67.3)	17 (70.8)
高校の先生の説明を聞いた	125 (81.2)	54 (90.0)	40 (56.9)	17 (70.8)
先生の説明を聞かなかった	29 (18.8)	5 (8.3)	12 (23.1)	7 (29.2)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

●学校生活について

【表19】 Q1-B 授業は定刻に始まっていますか

	定刻に始まる授業が多い	5分位遅れることが多い	なかなか始まらない
	101 (64.7)	48 (30.8)	7 (4.5)

【表20】 Q2-B

学校で「いじめ」にあったことがありますか

	総 数	対象校平均
な い	145 (92.9)	(93.9%)
あ る	11 (7.1)	(6.1%)

【表21】 Q2-C

学校で「現金の盗難」にあったことがありますか

	総 数	対象校平均
な い	149 (95.5)	(83.4%)
あ る	7 (4.5)	(16.6%)

【表22】 Q2-D 学校で「現金以外の私物の盗難」にあったことがありますか

	総 数	対象校平均
な い	148 (94.9)	(71.8%)
あ る	8 (5.1)	(28.2%)

【表23】 Q2-E 学校で生徒から「暴力行為」を受けたことがありますか。

	総 数	対象校平均
な い	154 (100.0)	(95.2%)
あ る	0 (0.0)	(4.8%)

【表24】 Q 2 - G 学校で先生から「暴力行為」(体罰)を受けたことがありますか

	総 数	対象校平均
ある	144 (94.1)	(92.6%)
ない	9 (5.9)	(7.4%)

【表25】 Q 2 - I クラブ、同好会に参加していますか

加入していない	29 (18.6)
加入しているが	60 (38.5)
熱心に活動している	67 (42.9)

【表26】 Q 2 - J クラブ、同好会以外の生徒会活動(委員会活動など)に積極的に参加していますか

積極的に活動している	19 (12.3)
普通だと思う	100 (64.5)
消極的だと思う	36 (23.2)

● 「補習授業」／学校の施設・設備について

【表27】 Q 6 - A 補習授業は必要だと思いますか／Q 6 - B 補習授業の量はどうですか

Q 6 - C 補習授業の出席状況

× 今の中学校に入学したことを現在どう思っていますか

Q6-A 補習授業は必要か？	総 数	よかったですと 思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
必要である	69 (44.2)	27 (45.0)	31 (59.6)	7 (29.7)
必要でない	10 (6.4)	4 (6.7)	2 (3.8)	3 (12.5)
どちらともいえない	77 (49.4)	29 (48.3)	19 (36.5)	14 (58.3)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

Q6-B 補習授業の量は？	総 数	よかったですと 思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
多すぎる	7 (4.5)	0 (0.0)	2 (3.8)	4 (16.7)
この程度でよい	131 (85.1)	54 (90.0)	41 (78.8)	17 (28.3)
少なすぎる	7 (4.5)	2 (3.3)	5 (9.6)	1 (4.2)
全く実施されていない	9 (5.8)	4 (6.7)	2 (3.8)	3 (5.0)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

Q6-C 補習授業への出席は？	総数	よかったですと 思っている	期待外れもあるが よかったですと思う	期待外れが多く 失敗だったと思う
ほとんど出席している	12 (7.8)	3 (5.0)	6 (11.5)	1 (4.2)
教科を選んで出席している	24 (15.7)	9 (15.0)	8 (15.3)	7 (29.2)
ほとんど出席していない	11 (7.2)	4 (6.7)	4 (7.7)	1 (4.2)
まったく出席していない	106 (69.3)	44 (73.3)	33 (63.5)	15 (62.5)
計	156 (100.0)	60 (100.0)	52 (100.0)	24 (100.0)

N.A-1